

2011年4月28日

甲状腺ホルモン薬供給再開への取組等について 第7報

日本内分泌学会、日本甲状腺学会、日本内分泌外科学会、日本甲状腺外科学会、日本小児内分泌学会の、関連5学会から、レボチロキシナトリウム製剤（チラーヂン S 錠[®]等）の供給について、学会員、医療機関、患者家族の皆様にお知らせします。

レボチロキシナトリウム安定供給対策委員会（通称 T4 委員会）

横谷 進（委員長） 原田 正平 皆川 真規

1. レボチロキシナトリウム製剤の在庫状況

4月27日現在でのレボチロキシナトリウム製剤の在庫量は、以下の通りです。

- (1) あすか製薬社内の「チラーヂン S」（S50、S25、散の3剤形）と「レボチロキシ
Na 錠 50 μ g 「サンド」（緊急輸入品）」を合わせた在庫量は、国内需要の約 1.3 か
月分です。
- (2) サンド株式会社内の「レボチロキシ Na 錠 50 μ g 「サンド」（国内承認品）の在
庫量は、国内需要の約 0.15 か月分です。

2. チラーヂン S 50 以外の剤形の供給再開の見込みについて

あすか製薬いわき工場では、チラーヂン S 50 以外の剤形についても生産を再開して
おり、5月中に、チラーヂン S50 以外に、チラーヂン S 散、チラーヂン S 25、チラー
ヂン S 100 のいずれの剤形も、出荷できる見込みと聞いています。

3. 新たな供給ルートの開発の進捗状況について

すでに報告していますように、T4 委員会では安定供給のためには多チャンネルでの薬
剤の供給が必要であると考え、繰り返し働きかけてきました。

あすか製薬からの委託生産（いわき工場以外の国内の工場での生産）については、す
でに製造も始まっていますが、生産量を増加するための努力をしていると聞いていま
す。

また、あすか製薬による緊急輸入（サンド株式会社とは別の会社からのもの）の準
備も、進捗していると聞きます。これは、不確定要素が取り除かれな限りは、有事
のバックアップとして必須であると考えられます。

3. 長期処方 of 自肅 of お願い of 継続について

第6報（4月22日）の時点よりも、在庫量が増加し、さしあたりの供給不足は回避される見込みです。

しかし、生産・供給には不確定要素が多く残されていることも考慮すると、国内在庫はまだ十分とは言えません。あすか製薬の委託生産と緊急輸入がさらに確実に進むかどうかという点も、合わせて判断すべきであると考えます。

どうか、それまでの間は、すでに繰り返しお願いしている通り、学会員をはじめとする医療従事者は、できるかぎり必要最小限の最適な処方・調剤に努めて下さい。患者家族の皆様にも、どうか、ご理解をお願いします。

被災地以外では、3か月処方といった長期処方を避け、原則1か月以内の期間の処方とするよう、お願い申し上げます。

以上